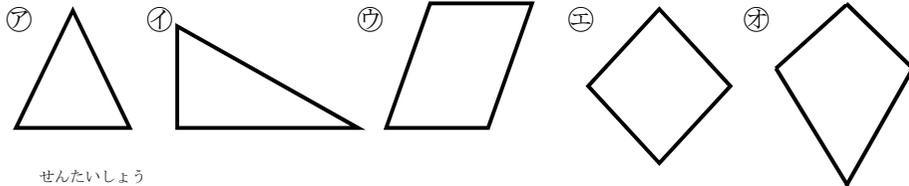


小学校第6学年 単元別確認テスト 1

単元名 [対象な図形(啓林館)] [対称な図形(東京書籍)]	①② (/ 2) 知識・理解	③~⑥ (/ 4) 技能	⑦⑧ (/ 2) 考え方	得点 (/ 8)
6年()組()番 名前				

○ ㉗~㉜の図を見て、次の問いに答えましょう。



せんたいしょう

① 線対称な図形をすべてえらび、記号で答えましょう。

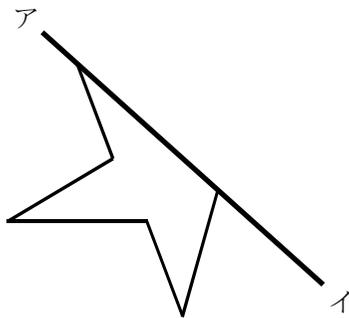
てんたいしょう

② 点対称な図形をすべてえらび、記号で答えましょう。

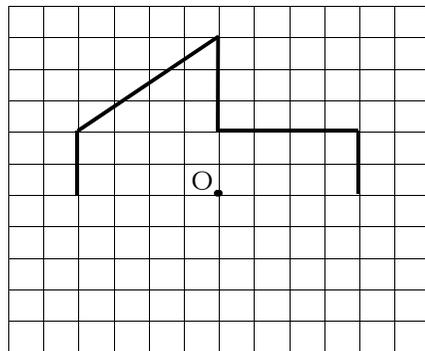
【①②知識・理解】

○ 対称な形をかきましよう。

③ 直線アイを対称の軸(じく)として線対称な形

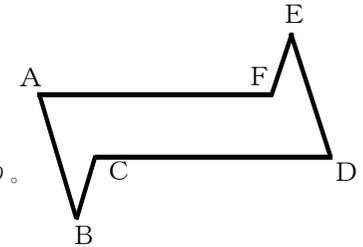


④ 点Oを対称の中心として点対称な形



○ 次の図は、点対称な図形です。次の問いに答えましょう。

⑤ 辺ABに対応する辺をかきましよう。



⑥ 対称の中心Oを、右の図にかき入れましよう。

【④~⑥技能】

○ 2つ折りにした紙に形をかいて、切って開くと、いろいろな形ができます。

(例)

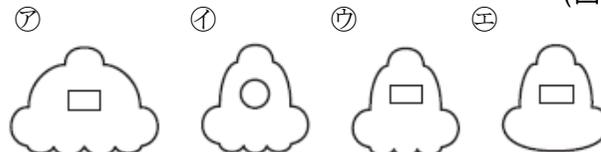


*太線で切りぬく。

⑦ 右の図1で、太線で切り抜くと、次の㉗~㉜のどの形ができるでしょう。



(図1)



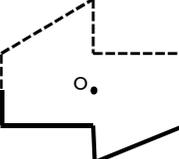
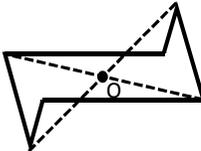
⑧ 下の岡山県のマークは、上の(例)のようなやり方で作ることができるか。「できる」「できない」のどちらかに○をつけ、その理由もかきましよう。



できる	できない
理由	

【⑦⑧考え方】

小学校第6学年 単元別確認テスト1 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[1 対称な図形 (啓林館P6~P24)] [1 対称な図形 (東京書籍P6~P20)]							
〈学習指導要領〉 C 図形		(1) 図形についての観察や構成などの活動を通して, 平面図形についての理解を深める。 イ 対称な図形について理解すること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	線対称について理解している。	㉞, ㉟, ㊱			○	○			90%
②	点対称について理解している。	㊲, ㊳			○	○			90%
③	線対称な図形を作図することができる。			○				○	80%
④	方眼紙のます目を用いて, 点対称な図形を作図することができる。			○				○	80%
⑤	点対称な図形の対応する辺を理解している。	辺DE		○			○		90%
⑥	点対称の図形から, 対称の中心を見つけることができる。			○				○	80%
⑦	紋切り遊びの手法でできる形を, 線対称な図形として考えることができる。	㊴	○			○			90%
⑧	「岡山県のマーク」を線対称な図形としてとらえることができる。	できる 理由 マークは, 線対称な図形だから。	○					○	80%
合計 8 問			2	4	2	3	1	4	85%

小学校第6学年 単元別確認テスト **2**

単元名：〔文字と式（啓林館）〕〔文字と式（東京書籍）〕	①～③ (/ 3) 知識・理解	④～⑦ (/ 4) 技能	⑧⑨ (/ 2) 考え方	得点 (/ 9)
6年 () 組 () 番 名前 ()				

- 次の問いに答えましょう。
- ① $x \times 3 + 40 = y$ という式で、 x の値が 20 のときの y の値をかきましよう。()
- ② $x \times 5$ の式で表されるものを、次のア～ウからすべてえらび、記号で答えましよう。
- ア 底辺の長さが x cm、高さが 5 cm の平行四辺形の面積
- イ 一辺の長さが x cm の正方形の周りの長さ
- ウ 分速 x m の速さで 5 分間歩いたときの道のり ()
- ③ $x \times 7 + 10$ の式で表されるのは、次のア、イのうちのどちらでしよう。
- ア 1 個 x 円のおめを 10 個と 1 個 7 円のおめを 1 個買った時の代金
- イ x 円のおん筆を 7 本と 10 円のおん筆キャップを 1 個買ったときの代金 ()

〔①～③ 知識・理解〕

- 次の x と y の関係を式に表しましよう。
- ④ 800 g のりんごを x g のかごに入れたときの全体の重さ y
-
- ⑤ 薬を毎日 6 こずつ x 日間飲んで、あと 30 こ のこっているときのはじめの薬の数 y
-
- ⑥ 150 円の本を x さつ買って 1000 円 はらったときのおつり y 円
-

○ 次の絵を見て問いに答えましよう。

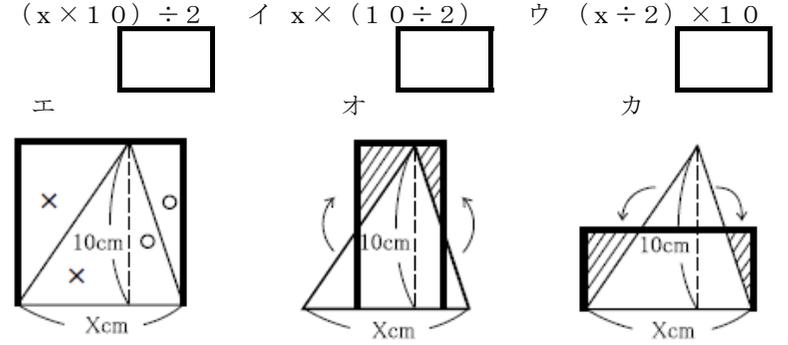
				
いちごケーキ 220円	チョコケーキ 230円	マロンケーキ 240円	むしケーキ 250円	クッキー 450円

- ⑦ ひろあきさんは、同じケーキを 4 こと、クッキーを 1 ふくろ買いました。ケーキ 1 ことのねだんを x 円、代金を y 円として、 x と y の関係を式に表しましよう。
-
- 〔④～⑦ 技能〕

- ⑧ 代金は 1410 円でした。何円のケーキを買ったのでしよう。⑦の式をもとに求めます。求め方もかきましよう。
-

○ 次の問いに答えましよう。

- ⑨ 底辺が x cm、高さが 10 cm の三角形の面積を、いろいろな考え方で求めました。次のア～ウの式は、それぞれ下のエ～カのどの図をもとに考えたものでしようか。記号で選びましよう。
- ア $(x \times 10) \div 2$ イ $x \times (10 \div 2)$ ウ $(x \div 2) \times 10$



〔⑧⑨ 考え方〕

小学校第6学年 単元別確認テスト2 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

		[2 文字と式 (啓林館P32~P38)] [3 文字と式 (東京書籍P36~P42)]							
〈学習指導要領〉 D 数量関係		(3) 数量の関係を表す式についての理解を深め, 式を用いることができるようにする。 ア 数量を表す言葉や口, △などの代わりに, a, xなどの文字を用いて式に表したり, 文字に数を当てはめて調べたりすること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	xに値を入れて, yの値を求める仕方を理解している。	100			○		○		90%
②	文字を用いた式が表す事象がわかる。	ア, ウ			○	○			90%
③	文字を用いた式が表す事象がわかる。	イ			○	○			90%
④	xとyの関係を式に表すことができる。	$800 + x = y$		○			○		80%
⑤	xとyの関係を式に表すことができる。	$6 \times x + 30 = y$		○			○		80%
⑥	xとyの関係を式に表すことができる。	$1000 - 150 \times x = y$		○			○		75%
⑦	xとyの関係を式に表すことができる。	$x \times 4 + 450 = y$		○			○		80%
⑧	xにいろいろな数を代入して, 条件に合う場合を求める方法について説明することができる。	240円の(マロン)ケーキを買った。 求め方は, x=240をあてはめたとき, $240 \times 4 + 450 = 1410$ になるから。	○					○	70%
⑨	式から面積を求める考え方をよみとることができる。	ア……エ イ……カ ウ……オ (完答)	○				○		70%
合 計 9 問			2	4	3	3	5	1	81%

小学校第6学年 単元別確認テスト 3

単元名：〔分数×分数（啓林館）〕 〔分数のかけ算（東京書籍）〕

①② (/ 2) 知識・理解
 ③～⑥ (/ 4) 技能
 ⑦～⑨ (/ 3) 考え方
 得点 (/ 9)

6年 () 組 () 番 名前 ()

○ 次の問いに答えましょう。

① ○、□の中にあてはまる数を入れましょう。

$$\frac{1}{4} \times \frac{\bigcirc}{\square} = \frac{1}{6}$$

② 0.6の逆数をかきましょう。

〔①② 知識・理解〕

○ 次の計算をしましょう。

③ $\frac{6}{7} \times \frac{2}{9} =$

④ $\frac{5}{21} \times \frac{14}{15} =$

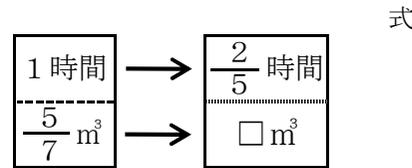
⑤ $\frac{5}{7} \times \frac{7}{12} \times \frac{8}{5} =$

⑥ $1\frac{2}{3} \times 2\frac{7}{10} =$

〔③～⑥ 技能〕

○ 次の問いに答えましょう。

⑦ 1時間あたり $\frac{5}{7}$ m³の水を使います。 $\frac{2}{5}$ 時間では、何m³の水を使うことになるでしょう。図を見て式を考えましょう。



答え

⑧ 1 mの重さが $\frac{7}{10}$ kgのパイプがあります。このパイプの $\frac{4}{5}$ mの重さは何kgでしょう。

式

答え

⑨ ピクニックに行きました。よし子さんの敷物は、たて $\frac{1}{2}$ m、横 $\frac{4}{5}$ m、ひろしくんの敷物は、たて $\frac{2}{3}$ m、横 $\frac{3}{4}$ mです。どちらの敷物が、どれだけ広いでしょう。

〔⑦～⑨ 考え方〕

小学校第6学年 単元別確認テスト3

出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[3 分数×分数 (啓林館P40~P52)] [4 分数のかけ算 (東京書籍P44~P56)]							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め, それらを用いることができるようにする。 ア 乗数や除数が整数や小数である場合の計算の考え方を基にして, 乗数や除数が分数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。 イ 分数の乗法および除法の計算の仕方を考え, それらの計算ができること。 ウ 分数の乗法及び除法についても, 整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	分数の乗法の計算の仕方を理解している。	○…2 □…3			○		○	80%	
②	逆数の意味を理解している。	$\frac{5}{3}$			○		○	70%	
③	分数×分数の計算(約分あり)ができる。	$\frac{4}{21}$		○			○	90%	
④	分数×分数の計算(約分あり)ができる。	$\frac{2}{9}$		○			○	80%	
⑤	分数×分数の計算(三口・約分あり)ができる。	$\frac{2}{3}$		○			○	90%	
⑥	分数×分数の計算(帯分数・約分あり)ができる。	$\frac{9}{2}$		○			○	80%	
⑦	問題文を読み取り, 分数の乗法により答えを考えることができる。	$\frac{5}{7} \times \frac{2}{5} = \frac{2}{7}$ $\frac{2}{7} \text{ m}^2$	○				○	80%	
⑧	問題文を読み取り, 分数の乗法により答えを考えることができる。	$\frac{7}{10} \times \frac{4}{5} = \frac{14}{25}$ $\frac{14}{25} \text{ kg}$	○				○	80%	
⑨	辺の長さが分数で表されているときも, 面積の公式を利用して面積を求め, 比較することができる。	よしさんの敷物は, $\frac{1}{2} \times \frac{4}{5} = \frac{2}{5} \text{ m}^2$ 。 ひろしくんの敷物は, $\frac{2}{3} \times \frac{3}{4} = \frac{1}{2} \text{ m}^2$ 。 $\frac{1}{2} - \frac{2}{5} = \frac{1}{10}$ ひろしくんの敷物の方が $\frac{1}{10} \text{ m}^2$ 広い。	○				○	70%	
合 計 9 問			3	4	2	0	8	1	80%

小学校第6学年 単元別確認テスト 4

単元名：〔分数÷分数（啓林館）〕 〔分数のわり算（東京書籍）〕

①② (/ 2) 知識・理解	③～⑥ (/ 4) 技能	⑦～⑧ (/ 2) 考え方	得点 (/ 8)
-----------------------	---------------------	----------------------	--------------

6年 () 組 () 番 名前 ()

○ 次の問いに答えましょう。

① □や○の中にあてはまる分数を入れましょう。

$$\frac{2}{5} \div \frac{3}{4} = \square \times \bigcirc$$

② 次の□, ○, ◇の中にあてはまる1けたの数を入れましょう。
(ただし, □, ○, ◇に, 同じ数は入りません。)

$$\frac{\square}{\bigcirc} \div \diamond = \frac{1}{6}$$

〔①② 知識・理解〕

○ 次の計算をしましょう。

③ $\frac{3}{8} \div \frac{2}{3} =$

④ $\frac{3}{4} \div \frac{3}{2} =$

⑤ $\frac{25}{36} \div \frac{35}{12} =$

⑥ $1\frac{13}{15} \div \frac{1}{3} =$

〔③～⑥ 技能〕

○ 次の問いに答えましょう。

⑦ $\frac{4}{5}$ m の重さが $\frac{7}{10}$ kg のパイプがあります。このパイプ 1 m の重さは何kgでしょう。

式

答え

⑧ $\frac{6}{5}$ 時間 で 21 km進む台風と, 12分間で $3\frac{1}{2}$ km進む自転車とでは, 速さが同じでしょうか, ちがうでしょうか。それぞれの時速を求めて答えましょう。

式

答え

〔⑦～⑧ 考え方〕

小学校第6学年 単元別確認テスト4 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[4 分数÷分数 (啓林館P54~P64)] [5 分数のわり算 (東京書籍P58~P72)]							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め, それらを用いることができるようにする。 ア 乗数や除数が整数や小数である場合の計算の考え方を基にして, 乗数や除数が分数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。 イ 分数の乗法及び除法の計算の仕方を考え, それらの計算ができること。 ウ 分数の乗法及び除法についても, 整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解すること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	分数の除法の計算の仕方を理解している。	$\square \cdots \frac{2}{5}, \bigcirc \cdots \frac{4}{3}$			○		○		90%
②	分数の除法の計算の仕方を理解している。	$\square \cdots 1, \bigcirc \cdots 3, \diamond \cdots 2$ (別解) $\square \cdots 1, \bigcirc \cdots 2, \diamond \cdots 3$			○		○		75%
③	分数÷分数の計算(約分なし)ができる。	$\frac{9}{16}$		○			○		90%
④	分数÷分数の計算(約分あり)ができる。	$\frac{1}{2}$		○			○		90%
⑤	分数÷分数の計算(約分あり)ができる。	$\frac{5}{21}$		○			○		90%
⑥	分数÷分数の計算(約分あり)ができる。	$\frac{28}{5} \quad (5 \frac{3}{5})$		○			○		90%
⑦	問題文を読み取り, 分数の除法により答えを考えることができる。	$\frac{7}{10} \div \frac{4}{5} = \frac{7}{8} \quad \frac{7}{8} \text{kg}$	○				○		80%
⑧	単位量あたりの大きさを使って, 速さを考えることができる。	台風の時速は $21 \div \frac{6}{5}$ で $\frac{35}{2}$ km。 自転車の時速は $\frac{7}{2} \div \frac{1}{5}$ で $\frac{35}{2}$ km。 したがって, 台風と自転車の速さは同じ。	○					○	70%
合 計 8 問			2	4	2	0	7	1	84%

小学校第6学年 単元別確認テスト 5

単元名 [円の面積 (啓林館)] [円の面積 (東京書籍)]	①② (/ 2) 知識・理解	③④ (/ 2) 技能	⑤~⑦ (/ 3) 考え方	得点 (/ 7)
6年 ()組 ()番 名前()				

でんたく

※このテストは、電卓を使って計算してもかまいません。

○ □の中に、言葉や数をかきましょう。

① 円の直径の長さが2倍になったとき、円周の長さはもとの円周の長さの何倍になるでしょう。

② 円の直径の長さが2倍になったとき、面積はもとの面積の何倍になるでしょう。

[①② 知識・理解]

○ 次の面積を求めましょう。

③ 半径が3cmの円の面積式

答え

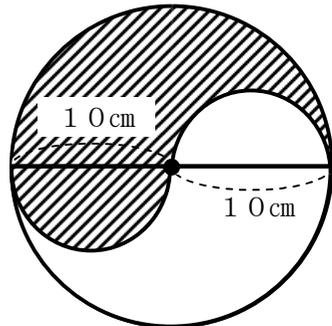
④ 直径が4cmの円の面積式

答え

[③④ 技能]

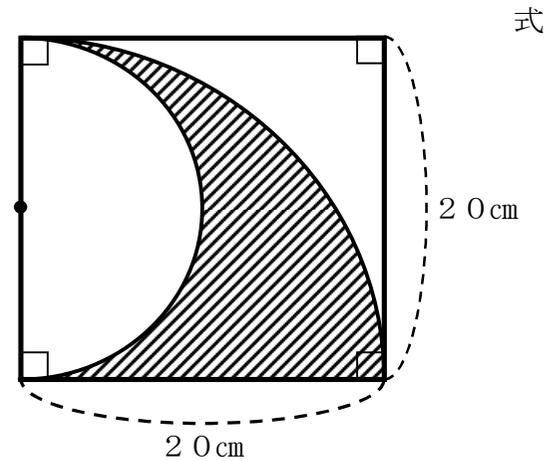
○ 次の図のしゃ線部分の面積を求めましょう。

⑤ 式



答え

⑥



式

答え

○ 次の問いに答えましょう。

⑦ 「面積が78.5 cm²の円の半径を求めましょう。」という問題を、たかしさんは、次のように答えました。

【たかしさんの考え】

$78.5 \div 3.14 = 25$

答え 25cm

この考えには、まちがいがあります。

正しい答えを求めましょう。求め方を言葉や式を使って説明しましょう。

(求め方)

(答え)

[⑤~⑦ 考え方]

小学校第6学年 単元別確認テスト 5 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

		[5 円の面積 (啓林館P66~P74)] [2 円の面積 (東京書籍P22~P35)]							
〈学習指導要領〉 B 量と測定		(2) 図形の面積を計算によって求めることができるようにする。 ア 円の面積の求め方を考えること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	目標正答率
①	円の直径の変化にともなって, 円周と面積がどのように変化するかを理解している。	2倍			○		○		90%
②	円の直径の変化にともなって, 円周と面積がどのように変化するかを理解している。	4倍			○		○		90%
③	半径から, 面積を求めることができる。	(式) $3 \times 3 \times 3.14 = 28.26$ (答え) 28.26 cm^2		○			○		90%
④	直径から, 面積を求めることができる。	(式) $4 \div 2 = 2$ $2 \times 2 \times 3.14 = 12.56$ (答え) 12.56 cm^2		○			○		80%
⑤	移動させて簡単にしたり, 円や半円などの面積の求め方を利用したりして, 面積を求めることができる。	○ (小さい半円を移動して大きい半円にする考え) (式) $10 \times 10 \times 3.14 \div 2 = 157$ (答え) 157 cm^2 ○ (上半分の斜線部分と下半分の斜線部分に分ける考え) (式) $10 \times 10 \times 3.14 \div 2 - 5 \times 5 \times 3.14 \div 2 = 117.75$ $5 \times 5 \times 3.14 \div 2 = 39.25$ $117.75 + 39.25 = 157$ (答え) 157 cm^2	○				○		70%
⑥	円や半円などの面積の求め方を利用して, 面積を求めることができる。	(式) $20 \times 20 \times 3.14 \div 4 = 314$ $10 \times 10 \times 3.14 \div 2 = 157$ $314 - 157 = 157$ (答え) 157 cm^2	○				○		70%
⑦	面積から円の半径を求める方法を説明することができる。	○ (式で) $78.5 \div 3.14 = 25$ $\square \times \square = 25$ $\square = 5$ 答え 5 cm ○ (言葉と式で) $78.5 \div 3.14 = 25$ 25は半径×半径の値である。 半径×半径が25になるのは, 半径が5のとき。 答え 5 cm	○					○	70%
全 問 7 問			3	2	2	0	6	1	80%

小学校第6学年 単元別確認テスト **6**

単元名 [比とその利用 (啓林館)] [比と比の値 (東京書籍)]	①② (/ 2) 知識・理解	③~⑤ (/ 3) 技能	⑥~⑧ (/ 3) 考え方	得点 (/ 8)
6年 () 組 () 番 名前 ()				

○ 次の問いに答えましょう。

① □にあてはまる数をかきましょう。

4Lのジュースと3Lのジュースの比は4 : □です。

② たて9cm, 横16cmの長方形のたてと横の長さの比をかきましょう。

[①② 知識・理解]

③ □にあてはまる数をかきましょう。

$63 : 42 = 9 : \square$

④ 6 : 4と等しい比を, 3つかきましょう。

⑤ 4 : 5の比の値を求めましょう。

[③~⑤ 技能]

○ 6年1組の男子と女子の人数の比は3 : 4です。次の問いに答えましょう。

⑥ 女子の人数は20人です。男子の人数は何人でしょう。

⑦ 女子の人数とクラス全員の人数の比をかきましょう。

○ 次の問いに答えましょう。

⑧ 太郎さんは, す60mLとサラダ油100mLをまぜてドレッシングをつくりました。花子さんは, す30mLとサラダ油60mLをまぜてドレッシングをつくりました。太郎さんのつくったドレッシングと, 花子さんのつくったドレッシングは, すとサラダ油の割合が同じでしょうか, ちがうでしょうか。

また, その理由もかきましょう。

同じ	ちがう
[理由]	

[⑥~⑧ 考え方]

小学校第6学年 単元別確認テスト6 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		[6 比とその利用 (啓林館P78~89)] [8 比と比の値 (東京書籍P84~94)]							
〈学習指導要領〉 D 数量関係		(1) 比について理解できるようにする。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	比の意味について理解している。	3			○		○		90%
②	比の意味について理解している。	9 : 16			○		○		90%
③	等しい比を求めることができる。	6		○			○		90%
④	等しい比を求めることができる。	3 : 2, 12 : 8, 15 : 10 など		○			○		80%
⑤	比の値を求めることができる。	$\frac{4}{5}$ または 0.8		○			○		80%
⑥	比の考えを用いて答えを考えることができる。	15人	○				○		80%
⑦	問題文の比の意味をとらえて, 答えを考えることができる。	4 : 7 (20 : 35でも可)	○				○		70%
⑧	比の考えを用いて答えを考え, その理由を説明することができる。	ちがう [理由] 太郎さん 60 : 100 = 3 : 5, 花子さん 30 : 60 = 1 : 2 比が等しくないので, 太郎さんと花子さんの ドレッシングのすとサラダ油の割合はちがう。	○					○	70%
合 計 8 問			3	3	2	0	7	1	81%